

2020年12月11日

2020年11月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参関連の仕事は一段落した。その他の案件もコロナ禍の影響を受けて低調に推移しており、前年を大幅に下回った。

巻取は金融目論見書、出版本文で堅調な動きが見られたものの、全体を押し上げるには至らず前年を若干下回った。

（前年比 平判 86.3% 巻取 93.7%）

再生紙は平判、巻取共に大口案件が減少していて、回復の兆しが見えない状況となっており前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 72.8% 再生上質巻取 76.3% 再生上質計 73.9%）

（前年比 印刷用紙 A 87.6%）

<A2 コート>

生損保、事業報告書、エンタメ関連で保留となっていたカタログ、パンフレットやカレンダーの定期案件で動きがあった。しかし、各業界においてコロナ禍での自粛が継続されており、各種イベントの中止、延期で印刷物案件全般の需要が大きく減少した。

出版、GoTo 関連で一部新規の仕事がありグロスの巻取は前年を上回ったが、全体では前年を下回った。

（前年比 平判 82.4% 巻取 103.7% 全体 86.0%）

<A3 コート>

食品スーパー、量販店、衣料品、学習塾等定期案件のチラシ等で一部回復の動きがあった。しかし、継続的な紙離れとコロナ禍の影響により前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 71.3% 巻取 77.7% 全体 75.0%）

<ノーカーボン紙>

平判は新規案件もなく、一般帳票関連の動きが非常に弱く前年を大幅に下回った。

巻取は例年の国税確定申告案件の動きが見られたが、生損保、金融関連の動きも弱く前年を下回った。

（前年比 平判 85.6% 巻取 90.2%）

<上質フォーム>

議決権、招集通知案件が動いた。しかし、官庁関連の納付書はじめ一般の動きは弱く、金融関連の動きも見られず、コロナ禍の需要の冷え込みの影響もあり前年を大幅に下回った。

（前年比 79.8%）

<包装用紙>

特殊両更は企業向けカレンダー袋で一部動きがあった。また去年は消費増税後の需要の冷え込みで大幅な需要減を招いていたという要素も重なり前年を大きく上回った。

(前年比 116.2%)

軽包装は製本会社向け雑包装用とその他包装用途の落ち込みが回復せず前年を下回った。

(前年比 89.4%)

片艶晒は店舗向け平袋、包装紙に多少の回復は見られているが、依然として手提げ袋の動きが低調のまま前年を若干下回った。

(前年比 98.6%)

両更晒は金融、保険会社向け封筒に一部動きがあったが、その他の用途に動きが見られず前年を下回った。

(前年比 96.2%)

色クラフトはテレワークへの移行など就業形態の変化の推進に伴い、事務用封筒の出荷が引き続き低調なままで前年を下回った。

(前年比 87.0%)

純白ロールは贈答用、年賀向けの包装紙に動きは見られているが、インバウンド消費の落ち込みと土産関連も回復しておらず前年を下回った。

(前年比 90.6%)

包装紙全体でも 87.9%と前年を大きく下回った。

<板紙>

町場の動きが鈍く、特に白板コートボールが低調でなかなか復調してこない様子。

高特板は POP の什器や食品、菓子関係、通販向けは堅調で、持ち帰り用パッケージやトレーも動きがあった。

チップボールは児童本などの動きはあったが、全体を押し上げる程の勢いはなく前年を下回った。

(前年比 85.5%)